T2R2 東京工業大学リサーチリポジトリ
Tokyo Tech Research Repository

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	第3回ホットフライングディスク大会を開催して―酸素運搬ロボットを用いた大会運営―
著者	鏑木武, 大平峰子, 小谷素子, 遠藤玄, 入部正継, 田窪敏夫, 石川朗
出典	第23回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会プログラム・抄録集, , , C1-017
発行日	2013, 10
Note	このファイルは著者（最終）版です。

Powered by T2R2 (Tokyo Institute Research Repository)

C1-017

第３回ホットフライングディスク大会を開催して―酸素運搬ロボットを用いた大会運営―

長野市民病院リハビリテーション科[1)], 東長野病院[2)], 小谷医院[3)], 東京工業大学[4)], 大阪電気通信大学[5)], 東京女子医科大学[6)], 神戸大学大学院[7)], 北信ながいき呼吸体操研究会[8)], 北信フライングディスククラブ[9)]

○鏑木　武[1,8,9)], 大平峰子[2,8,9)], 小谷素子3,8,9), 遠藤　玄[4)], 入部正継[5)], 田窪敏夫[6)], 石川朗[7,8)]

【目的】我々は，HOT 患者を対象としたフライングデスク（FD）大会を毎年開催し，３回目となる．今回は，酸素運搬ロボットが酸素ボンベの運搬を担当し，大会を開催したのでその模様を報告する．ＦＤ競技とは直径約 91.5cm の円形ゴールに，5 または 7m 離れたところからディスクを 10 枚投げ，ゴールを通過した回数を競う．
【対象】HOT 実施中の 18 名（男性 14 名，女性 4 名）平均年齢 75.2±4.7 歳，疾患の内訳は COPD9 名，肺結核後遺症 5 名，その他 4 名．
【方法】北信 FD クラブが主催し参加者を募り，当日の運営は，ボランティアスタッフ 18 名，酸素運搬ロボットスタッフ 9 名が担当した．県内外から医療関係者の来賓 6 名を招き，開会式，ながいき呼吸体操，FD 競技を 2 回実施，その後来賓，家族も競技に参加し，表彰・閉会式を行い，約 2 時間の大会を開催した．
【考察】我々はこれからも，FD をはじめとして酸素運搬ロボットなど，HOT 患者さんに有意義と考えられることに積極的に取り組み，QOL 向上に繋がることを発信していくために FD 大会を継続していきたい．